

地域医療教育・支援

新潟大学医歯学総合病院では、新潟県内の地域医療に対して次の活動を行っています。

<地域支援テレビシステム>

新潟大学医歯学総合病院をはじめ、新潟県内 29 カ所の医療機関に地域支援テレビシステムを設置してあります。このシステムを介して、画像情報などを送ることで、専門の医師がいない場合の診断補助や、ドクターヘリなどと連携して救急搬送をする際の補助になっています。平成 17 年より利用実績があり、患者さんの転院の補助に なったりしています。平成 20 年度より連携テレビシステムとして、より広範なネットワークが構築されており医師キャリア支援センター(<http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/career/>)のもとで、現在運用されています。

<地域医療教育>

新潟大学医歯学総合病院では平成 17 年に文部科学省により選定された「中越地震に学ぶ赤ひげチーム医療人の育成」プログラム(<http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/cor/>)を端緒として地域医療に対する教育に取り組んでいます。この取り組みの成果は平成 21 年 6 月に医学部に新潟県からの寄附により設置された医歯学総合研究科総合地域医療学講座(<http://www.med.niigata-u.ac.jp/cmh/>)に繋がります。現在でも地域医療、多職種連携などをキーワードとして年に 2 回、学部学科を超えた学生によるワークショップとフィールドワークを医学部総合地域医療学講座と連携して開催しています。このワークショップとフィールドワークは平成 24 年 10 月末現在、16 回開催され、参加者は延べ人数で 200 名を超えようとしています。